



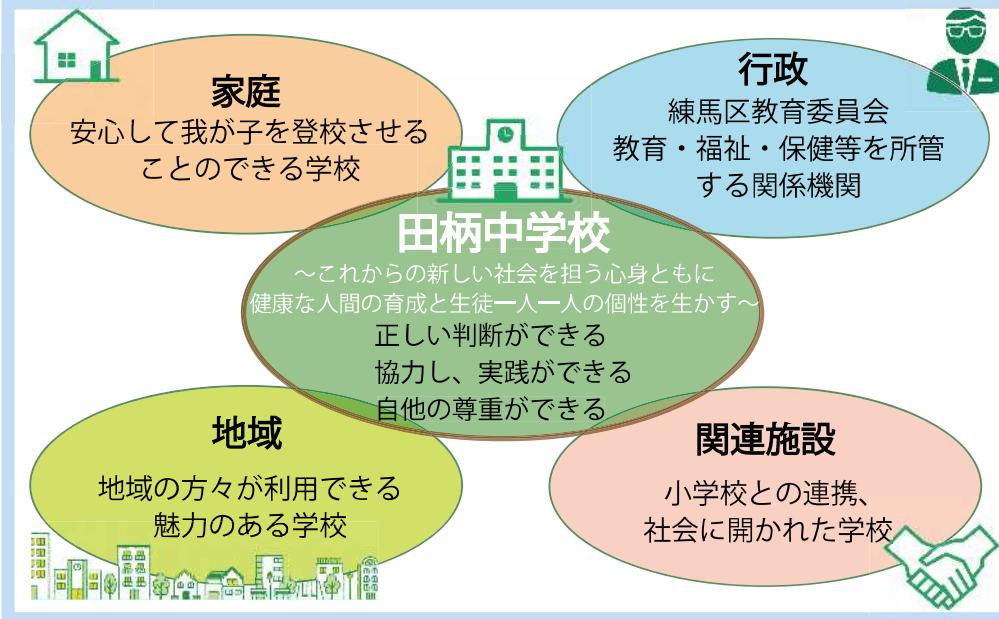
新校舎の設計構想について

令和4年12月9日

資料5

練馬区の教育施策や田柄中学校の教育目標を踏まえた学校づくり

■計画の構想



■本プロジェクトにおける方針

○学習を誘発する学校環境の構築

- 学習内容の変化に対応した柔軟性のあるプランニング



○健やかな体と心を育む生活環境の整備

- 緑豊かで潤いのある屋外環境

○地域活動など交流と連携を図る拠点施設の創造

- 地域の防災拠点としての役割を果たし、まちづくりの核として貢献できる施設整備



私たちの学校づくり

■学校づくりの理念

1. 多様な教育に柔軟に対応できる学校

- 多様な学習内容・学習形態に対応できるよう、ICT環境設備の整備を行う。



【バリアフリートイレの整備】

2. 安全安心な学校

- 敷地内や建物からの見通しを確保し、防犯性を備えた安心感のある学校づくりを行う。
- シックスクール対策など、生徒の健康に配慮した快適な学校整備を行う。



【太陽光パネルの設置】

3. バリアフリー化の推進

- 生徒、教職員、保護者、地域住民など誰もが利用しやすいよう、段差解消、バリアフリートイレの整備、エレベーターの設置など学校施設のバリアフリーに対応した学校整備を行う。



【記念碑等の移設】

4. 環境に配慮した学校

- 自然採光や通風などを考慮した計画とともに、太陽光発電の設置など自然エネルギーの活用を図り、省エネルギーと熱環境負荷の低減に配慮する。
- 可能な限り、既存木樹の保存を行う。
- 記念碑等を移設し、田柄中の歴史を継承する。



【マンホールトイレの整備】

5. コストの削減

- コンパクトな校舎を建設し、工事費用を低減する。
- 維持管理しやすく、ランニングコストの低減に配慮した学校をつくる。

6. 防災拠点として機能する学校

- 地震発生時に人命を守るために、十分な耐震性能を確保する。
- 災害時には避難所としての役割を担うことを踏まえ、防災備蓄倉庫やマンホールトイレの整備等、防災機能の向上を図る。